

## 綾瀬市立天台小学校

研究テーマ：「学びを楽しむ子をめざして」－児童が資質・能力を身につけるための単元づくり・課題づくりを通して－

### 1 実践の目的

単元とは問題解決のプロセスであり、課題づくりが単元づくりのポイントになると考える。また、目の前にある課題に対して、自分で一生懸命考えたり、友だちに相談したり、自分の考えを伝え合ったりする中で、新しい発見をしたり、課題を解決したりして、「分かった」「できた」という感覚を味わうことができれば、学びを楽しむ子が増えると考えている。

本校の児童は学習に前向きに取り組もうとする児童は多いが、学力差が大きい。学力状況調査の結果からは「書く力」に課題があると分析している。

そこで、児童が学びを楽しむような単元と課題を設定することが、育てたい児童の資質・能力を身につけていくことにつながると考え研究テーマを設定している。さらに振り返りの時間をしっかりと設定し、自分の学んだことを書いて表現させる機会を確保することで、次の学びへつなげていけたらと考えている。

### 2 実践の内容

#### (1) 校内研究の体制

本校は全学級で授業公開をしている。今年度は職員全員を低・中・高のブロックに分け、月1回程度部会の時間を設けた。そこで、児童の実態や課題を共有した上で、どのような取組を行うべきかを話し合ったり、研究授業に向けた話し合いをしたりして児童に身につけさせたい資質・能力について

一緒に考えていった。その中で日々の振り返りの仕方についても相談し合った。

#### (2) 講師の先生をお招きした研修会

講師の先生をお招きし、本校児童の課題としてあがっていた「書く力をつけていくために」という視点に加え「伝え合い方法はどのようにすると効果的か」、テーマにある単元・課題づくりについて講義していただいた。伝え合いを行う時には、その場の状況や学習内容で判断し、ペアやグループ、グループのメンバーなどを絞ると良いことなどについてご指導いただいた。

#### (3) 研究授業、研究協議の様子

講師の先生をお招きしての研究授業は低中高で1回ずつ行った。事前に、授業検討会を設定しており、そこで単元構成をみんなで考えたり、本時の課題はどのような課題がよいか、支援の手立てはどのような方法がよいかを考えたりするなど、グループで協議し、共有しあう時間を設けた。また、単元計画を作成する中でどのようにしたら児童が興味関心をもって学習に取り組むことができるのかを考え、新たな取り組みをする学年が多くいた。

研究授業は、児童にどのような資質・能力を身につけさせたいかを把握した上で参観し、研究協議の際は、それぞれが考えた成果と課題を伝え合う活発な話し合いを実施することができ、次の学びへとつながった。



自分の考えを  
伝え合う

自分の解き方  
友だちに紹介  
する



司書さんと連  
携して学年の  
本棚も充実



### 3 実践の成果

- 今年度も昨年度同様「書く力」と「振り返り」というキーワードを意識しながら校内研究に取り組むことができた。学習指導案にも「振り返り活動を通して」という項目を追加し、単元の中にしっかりと振り返る場所を位置づけることができた。振り返りをどのように書かせ、どのように次の学習へ生かしていくのかを考えることで、教師の振り返りに対する意識をより高めることができた。
- 児童が見通しをもって授業に臨めたり、児童自身が何を学んでいるのかが明確になったりするように、単元ごとの学習プランの作成に努める学年やクラスが複数あった。児童にとっても見通しをもたせ

ることで、自分たちが何を学ぶのかが分かり、意欲の向上につながったり、何を学んできたかが振り返りやすくなったりするという良い効果があった。

- 学習内容に興味関心をもたせるために、単元計画の順序の変更や授業展開について工夫している学年・クラスが多くみられた。その結果、児童が自発的に問題や課題に向き合う姿がみられた。
- 振り返りの書き方や内容については、見本となる児童のノートをコピーして掲示するクラスもあった。他の児童がよい手本を見られる環境を整えることで、児童自身で目標を設定することができ、お互いの意欲向上につながった。
- 講師の先生に紹介していただいたペアやグループの方法を取り入れ、授業内の話し合い活動が活発になり、助け合う姿が見られたクラスなどもあった。また、詩の指導を生かし、季節のことばを使った詩作りに挑戦した学年があった。掲示板上に掲示し、他学年の児童の目に触れさせることができた。

### 4 今後の展開

考えを伝え合うためには、まずは自分の考えをもつこと、そして自分の考えを書くことができてほしいが、自分の考えを文に書く力はまだまだ乏しい。語彙力を増やしていくためにも日々の読書活動の推進や授業の工夫に継続して取り組んでいきたい。また、伝え合う力について、まずは低学年で伝えることから始め、次第に伝え合うこともできるような力をつけていき、学びを楽しむ子を育てていきたい。